

2026 年度京都薬科大学入学者選抜

化学	学校推薦型選抜（一般公募制）
----	----------------

【出題の意図】

【Ⅰ】硫黄に関する問題

周期表の 16 族元素の酸素と硫黄に関する総合的問題である。16 族元素の共通特性や差異について理解するとともに、これら 16 族元素の反応特性について総合的に問う問題である。16 族元素は自然界にも多く含まれており、オゾンや酸性雨といった自然現象や環境問題、さらには金属の分別回収を通して持続可能な社会の構築に貢献する資質を持つ学生を求める本学の思いを含めた。

【Ⅱ】化学平衡

化学平衡の基礎をしっかりと理解し、化学平衡における平衡定数や、平衡状態における各物質のモル濃度の関係を計算できることを求めた問題である。また、ルシャトリエの原理を理解し、さまざまな条件での平衡の移動について、反応の進む向きを導き出せることを求めた問題とした。

【Ⅲ】アルコールの性質と反応性

アルコールの物理的性質、化学的性質に関する事項を中心とし、アルコールに関する知識に加えて理解力を問う基礎的な問題である。具体的には、メタノールやエタノールなどのアルコールの性質・構造・反応性および油脂の構造・反応性などについて、また油脂の反応性に関する基礎的な計算問題を出題している。

2026 年度京都薬科大学入学者選抜

化学	一般選抜前期
----	--------

【出題の意図】

【Ⅰ】無機化学に関する総合問題

身近なところに存在する金属を、高校化学の教科書で扱う内容での理解に落とし込むことを念頭に、Cuを軸に遷移元素全般とのつながりをもった包括的な知識と元素の性質を問う設問としている。雑学的な知識がなかったとしても、教科書に記載の化学的知識が身につけていれば解答を導くことができるような問い方をしており、知識の引き出しをスムーズに活用できるかを評価することが狙いである。

【Ⅱ】化学反応と速度に関する問題

五酸化二窒素の分解反応を挙げ、化学反応の速度に影響を与える因子および化学反応式の書き方について、基礎的な知識を確認した。また、実験結果に基づき、未知の情報である反応次数、反応速度式、反応速度定数、および活性化エネルギーなどを求めさせることで、大学での学びに必要な応用力および論理的思考力を有しているか評価した。

【Ⅲ】フェノールの反応と合成

問 1、2 ではフェノールに関する基本的な性質および反応性を理解しているかについて、問 3、4 では分子式から考えられる異性体の数や性質に関して、論理的思考力を問う内容とした。問 5 では、物質量の計算から少し発展的な収率の計算によって、応用力を評価する問題とした。

【Ⅳ】高分子化合物

問 1 と問 2 では高分子化合物に関する基礎的な知識を問うている。問 3 では高分子化合物に特徴的な性質の理解を問う問題であり、問 4 ではポリエステル重合反応と構造の理解を問うた。問 5 では、ビニロンの構造の理解を問う問題とした。

2026 年度京都薬科大学入学者選抜

化学	一般選抜後期
----	--------

【出題の意図】

従来からの一般入試前期の出題形式とは明確に異なる形式の出題を意図した。したがって、計算問題（計算力）や暗記問題（知識の確認）は不要とした。

そこで、化学の基礎原理・センスを根本的に理解して身につけていれば、設問中に与えられた情報のみから、本人の「思考力」によって正解を導ける出題内容とした。

すなわち、問題文中に正解を記述した上で「何故に、その様な答を導けるのかの理由を考えさせて、説明させる」設問や、「実験データ、グラフ、物質の物性に関する数値などから、それらの実態・様相・知見を読み解くことで、正解を導ける or 答を説明できる」設問の作成を意図した。

【Ⅰ】凝固点降下

日常で起こっていることが、化学を利用している（化学で説明できる）ということを理解できる問題とした。凝固点降下の化学的現象を実際に利用した問題であり、設問の問題文中や反応式を化学的に読み解いて、思考力によって正解を導ける設問とした。また、文章を読んで何を問われているかを理解し、自分の言葉で説明できることを必要とする問題とした。

【Ⅱ】ベンゼンの安定性

ベンゼンが持つ特別な安定化（芳香族性または共役安定化）に関する問題。与えられた図からベンゼンが特別な安定化を持つことがわかるが、その安定性が及ぼすベンゼンに関する反応性を理解できるかを問う。エントロピーや化学反応の知識も利用するため、有機化学の内容だけではない複合問題であり、それらを総合的に理解していれば思考力によって正解を導ける設問とした。